

幌延深地層研究センターからのお知らせ

サイクル機構では、1公募型研究(北海道大学大学院工学研究科石島教授他との共同研究)として、同大学が中心となってこれまでに開発した2岩盤力学測定装置の性能試験をHDB-1孔跡地において実施します。9月18日より試験位置を決めるためのボーリングを実施し、9月25日頃から測定装置の性能試験を開始する予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1公募型研究制度とは? : サイクル機構が、核燃料サイクルに関連した研究テーマを広く公募・審査し、採用した研究テーマについて共同研究や委託研究を行う制度です。

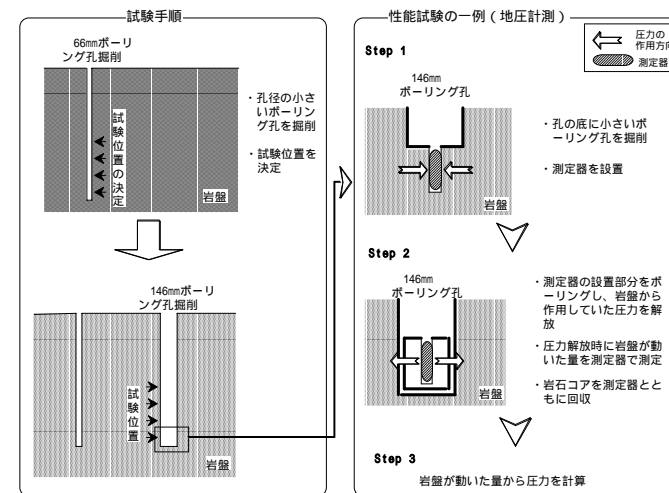
2岩盤力学測定装置とは? : 岩盤に作用している圧力の大きさ、岩盤の微小な動き、岩盤中を振動が伝わる速度を計測する装置です。

性能試験の概要

右図に示すような試験手順に従い、昨年度試錐調査を実施したHDB 1孔の跡地において、2孔のボーリング孔を約20m掘削し、そのボーリング孔に岩盤の圧力や振動の伝わる速度等を測るための岩盤力学測定装置を設置し、性能試験等を行います。

今回の性能試験により、開発した装置の性能や、岩盤の力学的性質(地圧の大きさや岩盤の変形のしやすさなど)に関するデータが取得されます。右図は岩盤にかかる圧力(地圧)を計測する方法を簡単に示したものです。

研究で開発された手法やデータは、幌延深地層研究計画における地下施設的设计や堆積軟岩を対象とした調査技術開発や地質環境モデルの構築などへ反映されます。



開発した岩盤力学測定装置の例(地圧計測装置)

| | H14年9月 | H14年10月 |
|-----------------------|--------|---------|
| 準備作業、試験位置を決めるためのボーリング | 約7日間 | |
| 岩盤力学測定装置の適用試験 | | 約10日間 |
| 解体・撤去 | | |

お問い合わせはこちらへ!

核燃料サイクル開発機構 幌延深地層研究センター

〒098-3207 北海道天塩郡幌延町宮園町1番地8

TEL:01632-5-2022 FAX:01632-5-2033 眞鍋 杉之原